

4 長崎県・長崎県議会へ 要望活動を行いました

南島原市と南島原市議会は「長崎県の施策に関する要望・提案書」をまとめ、8月6日、中村県知事・瀬川県議会議長を訪問し、要望を行いました。

市では、本市が抱える地域課題の解決や各種施策の推進を図るため、平成21年度から県に対して要望活動を行っています。



4 中村県知事への要望活動



瀬川県議会議長への要望活動

【今回要望項目】

- ①地域高規格道路「島原天草長島連絡道路(深江町～口ノ津港)」の早期事業化について
- ②雨水・浸水対策について
- ③南島原市自転車歩行者専用道路整備事業について ほか12項目



6

6 優秀工事を表彰

8月5日、市は、受注者の施工意欲を喚起し、工事の品質と適正な施工の確保を図るため、令和元年度に完成した市発注工事を対象に選考した優秀工事について、表彰しました。

● 優秀工事表彰受賞者 (敬称略)

工事名	受注者		技術者名
	会社名	代表者名	
市道吉川中谷線道路改良工事	株式会社野田組	代表取締役 野田 聖子	野田慎太郎



5

5 ニッセイ財団「児童・少年の健全育成助成」で 剣道防具を整備

ニッセイ財団の「児童・少年の健全育成助成」を受け、「布武会」(布津町)が剣道防具を購入しました。布武会は、剣道を通じた児童の健全育成を目的に活動しており、剣道の修練だけでなく、地域の清掃活動を定期的に行うなど、長年の活動が評価されての助成となりました。

真新しい防具を身に着け、さらなる剣道技術の向上と地域貢献活動などでの活躍が期待されます。

市内各地で行われたイベントやまちの話題をお届けします。



1

1 県内初！無料「買い物支援バス」が始動

8月4日、社会福祉法人長和会(長池庄一郎 理事長)と社会福祉法人南島原市社会福祉協議会(本田利峰 会長)は、有家町新切地区での買い物支援バスの運行を開始しました。このバスは、週に1回運行し、おおむね65歳以上の地域住民が無料で利用できます。利用するには、市社協への登録が必要です。長和会が車両や運転手、燃料費などの必要経費を負担し、交通手段を持たない高齢者の送迎を行います。

このような地域貢献活動は、県内では初の取り組みで、これにより、高齢者の閉じこもり予防や孤独感の解消、利用者の安否や健康状態の確認など、見守り活動にもつながります。

高齢者がいつまでも安心して住み慣れた地域で暮らしていくことができるよう、この取り組みが市内に広がるのが期待されます。

運行初日となったこの日は、8人がバスを利用して買い物に出かけました。



3

3 犯罪被害者等支援の連携協力に関する 協定を締結

7月31日、市と南島原警察署は、犯罪被害者等支援の連携協力に関する協定を締結しました。

これは本年4月に制定した市犯罪被害者等支援条例に基づき、犯罪被害者などの支援および支援に係る情報共有に関して連携協力することで、犯罪被害者の権利を保護することを目的としています。

市は犯罪被害者の経済的負担の軽減を図るため、犯罪で傷害を負った被害者に10万円、亡くなった被害者の遺族に30万円を支給する見舞金支給制度を設けるとともに、早期に平穏な日常生活を営むことができるよう、福祉サービスの提供などの支援を行っています。



2

2 口之津港ターミナルとその周辺施設が みなとオアシスに登録

口之津港ターミナルビルとその周辺施設で構成される「みなとオアシスくちのつ」が港の賑わいの拠点となる「みなとオアシス」に登録されました。

7月30日、市役所で交付式が行われ、登録証と標章が手渡されました。

地元有志で組織したみなとオアシスくちのつ運営協議会の塩田善之会長は「登録認定されて大変喜んでいる。今まで地域の皆さんが取り組んできた証であると同時に、これからの賑わいへの期待を込めての登録だと思う。その期待に応えるため、地域の活力となる活動をしていきたい」と述べました。

※みなとオアシスとは…「みなと」を核としたまちづくりを促進するため、住民参加による地域振興の取組が継続的に行われる施設を国土交通省港湾局長が登録するものです。

いつまでもお元気で
～100歳おめでとうございます～

竹島 スミエさん(加津佐町)
大正9年7月18日生まれ

「まちの話題」では、市内の行事や出来事を紹介しています。紙面の都合上、広報みなみしまばらに掲載できなかった話題や写真は南島原市ホームページの「まちの話題WEB版」に掲載しています。ぜひご覧ください。

南島原市

南島原タイムトリップ
～あの頃、君は若かった～

今月の写真

Q. さて、ここはどこでしょう？
A. 答えは次ページの下段をご覧ください。